

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん!

平成19年9月24日発行 季刊
発行責任者: 根っから地元派 ばん よしはる

創刊号外

はじめまして「瓦ばん!」です。

皆さん、こんにちは。ばんよしはるです。
いやー暑かった...今年の夏は。皆さんはお元気で乗り越えられましたでしょうか。
人一倍汗っかきの私、おかげ様で今年の夏はイイ汗かいております。
ええまあ冷や汗もしょっちゅうですが...(^^;)。

根っから地元派の私が、今年4月、皆様からのご支援をいただきまして斑鳩町議会議員に当選させて頂きました。皆様、本当に心よりありがとうございます。

さて、この度『瓦ばん!』を創刊することにいたしました。
当選後の日々は、それまでよりも様々な状況に直面し、正直、思いあぐねることも多々あります。
そんな時は視点をかえてみては?

色んな声に耳を傾けながら、振り回されず信じるところを、ホンネで話してみたい。

そうしたら、今まで解らなかったことがわかるんでは?

なんとか、私のホンネをお伝えして、私に向けての皆様からの声をお聴きしたい、意思疎通をはかりたい!その想いが「瓦ばん!」になりました。

ひとり一人が考え行動する、それらを持ち寄って、皆で住みよい町づくりをしませんか。
皆様からのご意見・ご感想をいただければたいへん嬉しいです。

メルマガやブログ全盛の近頃ですが、子ども達から高齢の方々までひとりでも多くの方にご覧いただけることを願って「瓦ばん!」は瓦版でやってみます。

季節ごとの発行を目指しております。

どうぞ、これからよろしく御一読下さいませ。

〈トピックス〉



民意はどこにある?! 選挙と政治に一言も/申す

ザ・選挙年

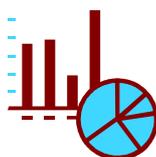
過4月22日は4年に1度の統一地方選挙が行なわれました。おかげさまで私も議員1年生となりました。さらに7月29日は3年に1度の参議院選挙も行なわれました。

そう、2007年は12年に1度のW選挙年です。

なんと、今回は史上空前の期日前投票でした。
自分の意思は出来るだけ行動で示したいものです。

皆さんの一票はいかがでしたか?

DATAで斑鳩町 参議院選挙



投票率	63 %
投票当日の有権者数	23,307人
投票者数	14,668人(選挙区選出)
投票者数	14,667人(比例代表選出)

首相は日本の舵取りです!

今、議員に一番大切なことは、一般の人々の感覚だと思います。
誰が首相になられても、そのことを忘れずにやっていただきたい!
ものです。

ちょっと、
お耳拝借



18歳は有権者?!

さて、皆さんはご存知でしょうか。
18歳からを有権者と認めようという
法案が提案されています。

私はイイと思います。

若い人には政治への関心をもってもらう、
年配者にはやわらかいアタマをもってもらう、
立場も役割も違うからこそ、
各世代の意思が反映されるような
仕組みが要ると思うのです。

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。

<連載>

体験レポート ワタンやってみました!



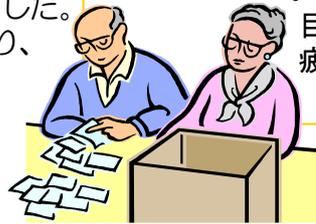
第1回 選挙立会人の巻

それは7月のある日、選挙立会人のご依頼がありました。私「立会人ですか？」
ううん...即日開票であの夜明け方までかかる、アレか。
めっぽう朝型のワタン、夜中はツライ...
「誰にでもできる任じゃないんだから、愉しんでやり遂げれば。」
と友人からは気楽な言葉をもらいます。
そや!ここはひとつその任、まっとうしてみます。
46歳の初体験や。真摯にやらせてもらいますわ。
ということになりました。
さて、当日は...右記の通りになりました。
感想です。初めてやる作業は身の引き締まる緊張感でいっぱい
でした。選挙管理委員会の皆さんの、作業のスピード化(時間の短縮)
と制度に対する真剣な取り組みを肌で感じる事ができました。
速報では僅差の当選もありますが、しっかり管理されており、
有権者としても立候補者としても大安心です。
それにしても、皆様お疲れ様でした。

当日のスケジュール

午後8時 投票所入り、待機
...じわじわと
手に汗の緊張感
午後9時 開票始まり
...正確やのに早いわ

午前0時半 開票作業完了
(比例代表)
...いやあ気は冴える
目はランラン
疲れました



なんとかしたい!

(朝日新聞 www.asahi.com より) 2007年08月29日

11病院拒否 妊婦の悲劇教訓生かす 救急システムに穴

お産の医療現場で悲劇は繰り返された。29日朝、奈良県橿原市の妊婦(38)が病院に相次いで受け入れを拒まれて胎児を死産した事態の始まりは、昨夏にも妊婦が死亡したのと同じ県内で起きた。行政が主導する産科医療の受け入れシステムは機能せず、近畿の広域連携の仕組みも構想の途中だった。関係者は「一刻も早く解消を」と訴えた。

まったくつらい話です。

これは医療行政のあり方を考えさせられます。受け入れ拒否の背景には慢性的な医師不足があるようです。しかし、問題はそれ以外にもあると思う。病院に検診にさえ行っていれば子どもの命は助っていたのでは...現状このような未受診者が年々増加している。

なぜ、検診に行かないのか?再度、子どもの命の尊さを考えてほしいです。

一方で、皆さんはご存知でしょうか?

斑鳩町では、妊娠されている方は1子につき1回、無料検診が受けられます。ご希望の方は検診をお受けになられたでしょうか。斑鳩町の住民の方に限りますが町外の病院でもOKです。(但し、35歳までの方と35歳以上の方で診察内容が異なります。)

前むき後記

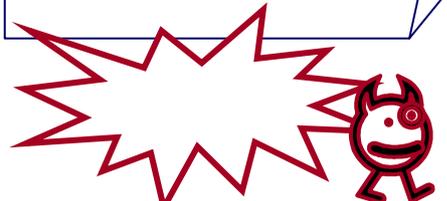
「瓦ほん!」創刊号をご一読下さり、心よりありがとうございます。社会には見過ごせないことが色々起きます。今号では、私が今感じていることをお話しました。皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下されば、たいへんうれしいです。



(毎日新聞
www.mainichi-MSN.co.jp より)
2007年8月3日

社保庁職員:年金着服1億3千万円 24人が12年間で

社会保険庁職員らが年金保険料などを着服・不正受給した事案が、95~06年に少なくとも24件発覚し、総額約1億3291万円に上ることが分かった。預かった国民年金保険料を着服する手口が目立つが、納付記録の水増しなどオンラインシステムを悪用したものもあった。



どないなってる、この有様?!
みんなが老後の為に若いときからまじめに掛けてきたお金を心無い社保庁職員はどのように考えているのか。

一般国民の感覚では考えられない事件や。ただただ情けない!恥ずかしくはないのか!
公務・公金に携わる者よ、しかと心してかかるべし。